

宿毛市消防団の沿革と概要

(1) 沿革

宿毛市には、明治の初期旧宿毛町に小規模な消防組があったが、完全な機能を発揮することができず、公設の運びとなり、明治43年訓令29号による消防規則の公布により、同年4月高知県知事より公設消防の許可を得て、宿毛町消防が誕生、昭和17年警防団令公布により宿毛町警防団となる。昭和17年旧和田村と合併7分団に再編成、昭和22年宿毛町消防団として発足、昭和29年4月市制施行、昭和30年4月、旧小筑紫町、旧平田町、旧山奈町、旧橋上町、旧沖の島町の消防団を合併24分団団員740名をもって宿毛市消防団として発足、昭和37年4月8分団25部団員数640名に再編成、昭和44年4月消防署発足に伴い、昭和45年4月団員45名を減員483名となる。昭和49年11月同和地区の消防力の強化を図り、15名増員団員498名となり現在に至る。

(2) 表彰歴

昭和 38 年 3 月 高知県消防協会会長より竿頭綬を授与される。
昭和 45 年 3 月 日本消防協会会長より表彰旗を授与される。
昭和 50 年 5 月 高知県知事より表彰旗を授与される。
昭和 53 年 3 月 消防庁長官より竿頭綬を授与される。
昭和 61 年 3 月 消防庁長官より竿頭綬を授与される。
昭和 63 年 3 月 高知県消防協会会長より竿頭綬を授与される。
平成 8 年 4 月 高知県知事より竿頭綬を授与される。
平成 10 年 4 月 高知県消防協会会長より表彰旗を授与される。
平成 13 年 11 月 国土交通大臣より水防功労者表彰状を授与される。
平成 14 年 4 月 高知県知事より竿頭綬を授与される。
平成 14 年 9 月 内閣総理大臣より防災功労者表彰状を授与される。
平成 24 年 2 月 日本消防協会会長より竿頭綬を授与される。
平成 28 年 3 月 日本消防協会会長より表彰旗を授与される。

(3) 歴代消防団長

初代	田中進一氏	昭和30年4月	～	昭和40年8月
二代	西村英男氏	昭和40年8月	～	昭和49年5月
三代	奈良守氏	昭和49年5月	～	昭和52年1月
四代	柴岡計男氏	昭和52年1月	～	昭和62年6月
五代	九谷善二郎氏	昭和62年6月	～	平成5年4月
六代	浜田義弘氏	平成5年4月	～	平成13年4月
七代	笹木保氏	平成13年4月	～	平成16年4月
八代	江口文夫氏	平成16年4月	～	平成22年4月
九代	岡本憲正氏	平成22年4月	～	平成28年4月
十代	岩本公一氏	平成28年4月	～	現在に至る

大月町消防団の沿革と概要

(1) 沿革

大正5年柏島、昭和2年古満目に消防組が創設されたのが始まりで、昭和14年、奥内村警防団として誕生。

昭和22年4月30日消防団令の施行と共に、警防団を改組し、消防団として結成し、各地区に分団を設置した。

昭和32年3月旧大内町・旧月灘村の合併により、大月町消防団が結成された。

昭和57年4月1日消防の近代化に伴い、16分団300名を7分団17部241名に再編成したが、昭和55年9月30日に1部、昭和63年3月31日に1部が団員不足のため休部となる。その後、平成6年4月1日に1部、平成23年4月1日に1部が再編成され、7分団17部253名として現在に至っている。

(2) 表彰歴

- 昭和 53 年 日本消防協会会長より表彰旗を授与される。
- 昭和 60 年 消防庁長官より竿頭綬を授与される
- 昭和 63 年 高知県消防協会より表彰旗を授与される。
- 平成 4 年 高知県知事より竿頭綬を授与される。
- 平成 8 年 高知県知事より表彰旗を授与される。
- 平成 11 年 消防庁長官より表彰旗を授与される。
- 平成 13 年 国土交通大臣より水防功労者表彰状を授与される。
- 平成 14 年 高知県知事より竿頭綬を授与される。
- 平成 14 年 内閣総理大臣より防災功労者表彰状を授与される。
- 平成 18 年 日本消防協会会長より竿頭綬を授与される。

(3) 歴代消防団長

初代	桜谷 完 氏	昭和 32 年 3 月	～	昭和 36 年 3 月
二代	松本 正明 氏	昭和 36 年 4 月	～	昭和 44 年 3 月
三代	松田 隆善 氏	昭和 44 年 4 月	～	昭和 48 年 3 月
四代	亀尾 猶蔵 氏	昭和 48 年 4 月	～	昭和 57 年 3 月
五代	後藤 純男 氏	昭和 57 年 4 月	～	平成 7 年 3 月
六代	久米 博 氏	平成 7 年 4 月	～	平成 20 年 3 月
七代	市原 泰 氏	平成 20 年 4 月	～	現在に至る

三原村消防団の沿革と概要

(1) 沿革

三原村に消防団が設置されるまでは、昭和14年4月に警防団を設置し、消防並びに警防の事に当たっていた。

終戦とともに警防団は解散となり、昭和22年4月に消防団勅令が制定され、昭和22年5月に三原村消防団が組織され、昭和41年4月三原村消防団規則が改正され、1本部6分団に、昭和59年4月6分団を4分団に、団員総数53名で現在に至っている。

(2) 表彰歴

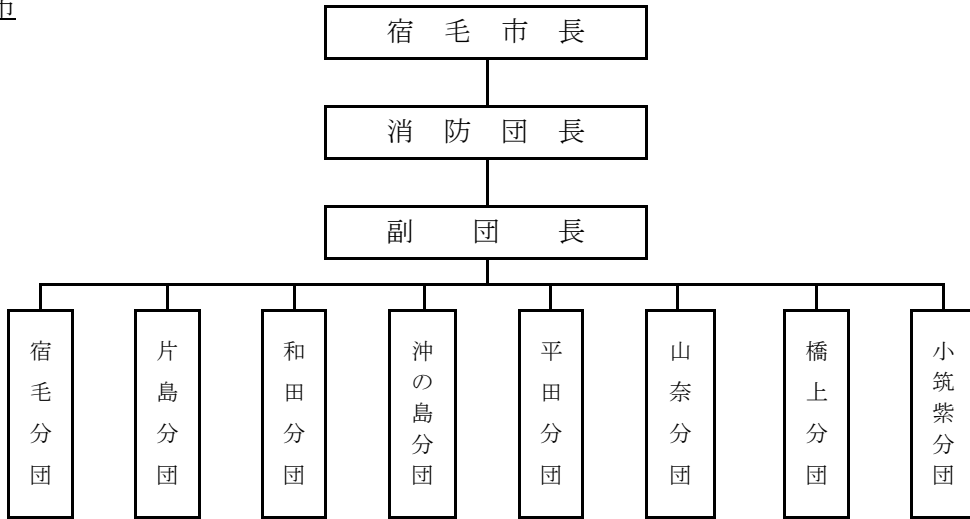
- 昭和 46 年 高知県知事より竿頭綬を授与される。
- 昭和 51 年 日本消防協会長より竿頭綬を授与される。
- 昭和 52 年 高知県消防協会より竿頭綬を授与される。
- 昭和 56 年 高知県消防協会より表彰旗を授与される。
- 昭和 60 年 高知県知事より表彰旗を授与される。
- 昭和 63 年 消防庁長官より竿頭綬を授与される
- 平成 5 年 日本消防協会長より竿頭綬を授与される。
- 平成 7 年 日本消防協会長より表彰旗を授与される。
- 平成 16 年 高知県知事より竿頭綬を授与される。
- 平成 26 年 日本消防協会より竿頭綬を授与される。

(3) 歴代消防団長

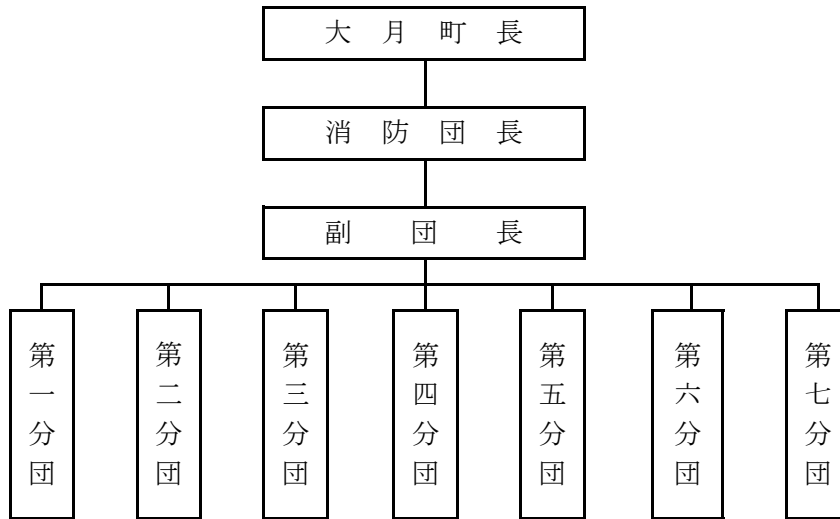
初代	杉本義夫氏	昭和22年5月	～	昭和29年12月
二代	田野昇氏	昭和30年1月	～	昭和39年8月
三代	矢野吉国氏	昭和39年9月	～	昭和42年12月
四代	亀山武助氏	昭和43年1月	～	昭和47年12月
五代	津野正男氏	昭和48年2月	～	昭和59年3月
六代	白石要氏	昭和59年4月	～	平成元年3月
七代	大塚幸馬氏	平成元年4月	～	平成6年3月
八代	沖六海氏	平成6年4月	～	平成14年3月
九代	熊谷熊王氏	平成14年4月	～	平成21年3月
十代	新谷和正氏	平成21年4月	～	現在に至る

消防団組織図

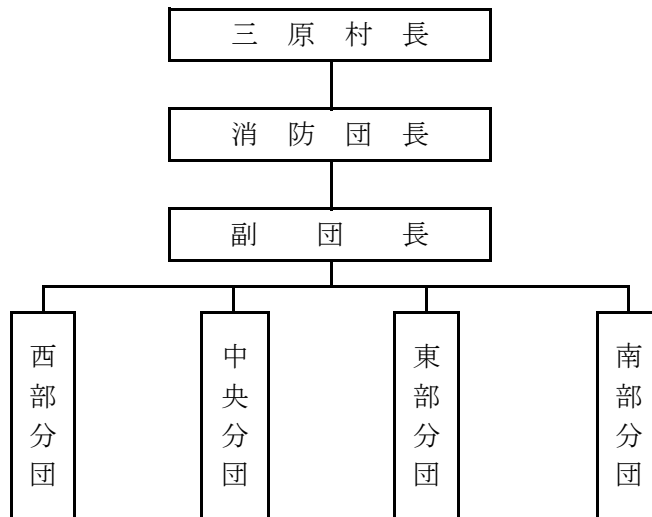
宿毛市



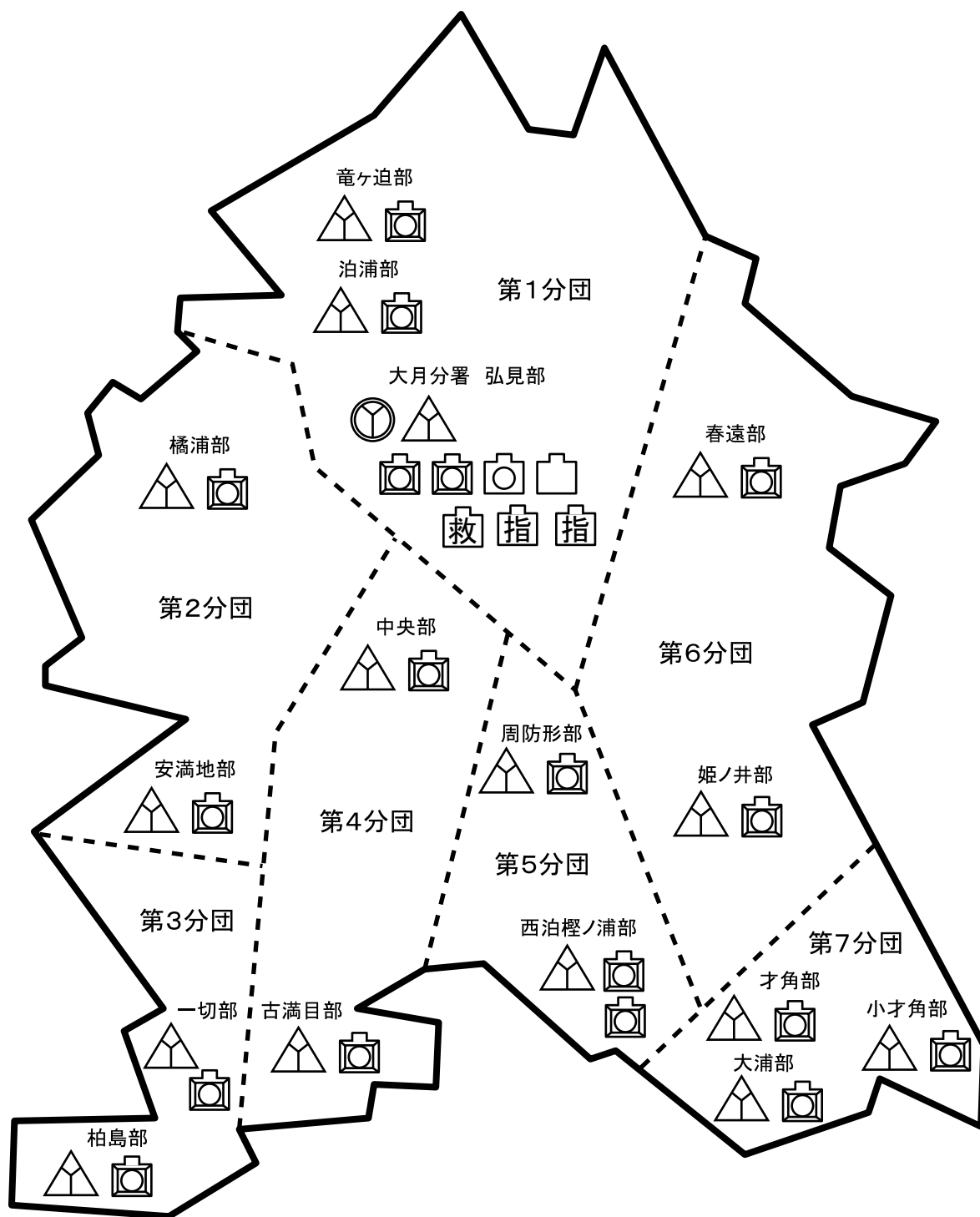
大月町



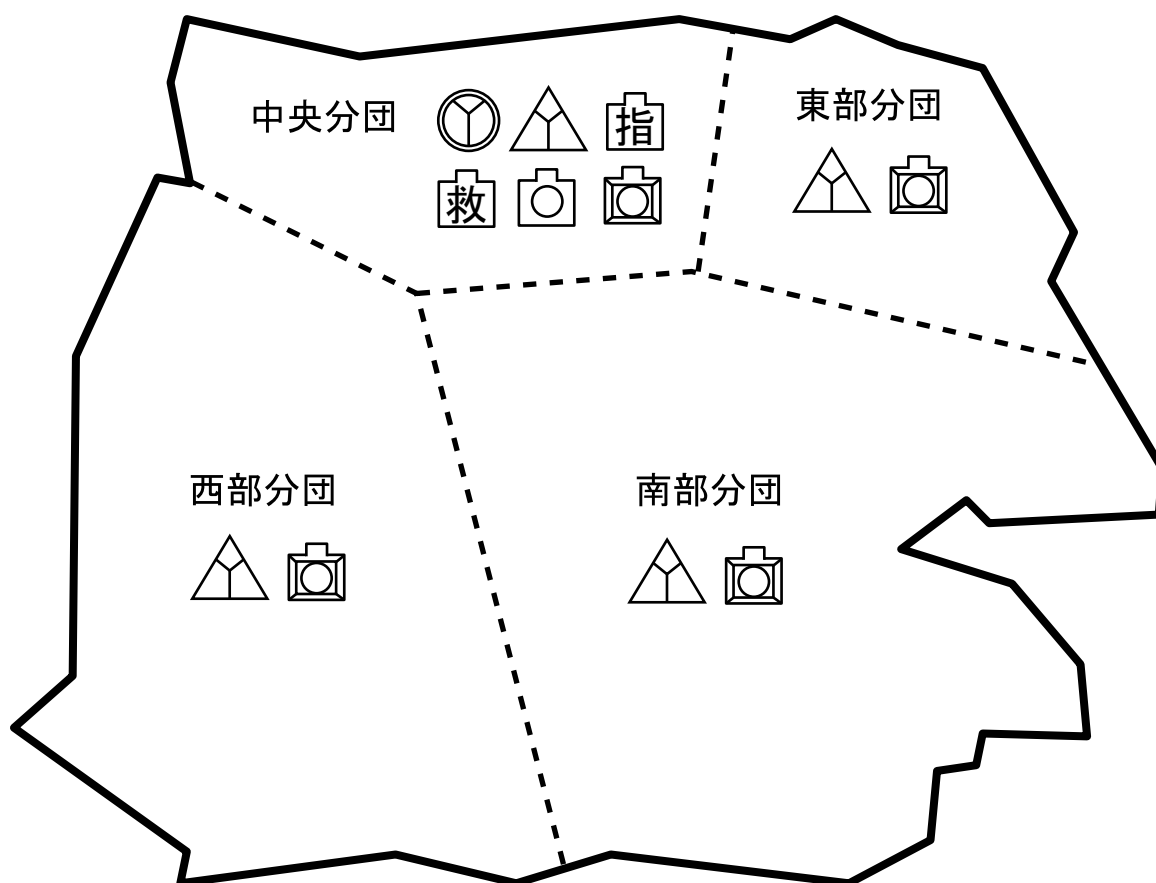
三原村



機械器具配置一覽表(大月町)



機械器具配置一覽表(三原村)



宿毛市消防団機械器具配置状況

分団名	種別	種別	車名 ポンプ名	ポンプ 型式	年式	経過 年数	地区名
	本部	指揮車	トヨタ		H13	15	
		積載車	ニッサン		H12	18	
		小型動力ポンプ	ラビット	P490	H4	25	
		〃	〃	〃	H1	28	
		〃	〃	〃	H4	25	
宿毛分団	宿毛	ポンプ自動車	トヨタ		H6	22	
		積載車	ニッサン		H10	19	
		小型動力ポンプ	ラビット	P476	H10	〃	
片島分団	片島	ポンプ自動車	トヨタ		H7	21	
		積載車	トヨタ		H21	8	
		小型動力ポンプ	ラビット	P455	H21	〃	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V38AS	S53	39	
	大島	積載車	トヨタ		H8	21	
		小型動力ポンプ	ラビット	P490	H8	〃	
		〃	〃	〃	S61	31	
	咸陽	積載車	トヨタ		H26	3	宇須々木
		積載車	ニッサン		H19	10	大深浦
		小型動力ポンプ	シバウラ		H26	2	宇須々木
小型動力ポンプ		ラビット	P455	H19	10	大深浦	
和田分団	和田	ポンプ自動車	トヨタ		H8	20	
		積載車	トヨタ		H6	23	正和
		小型動力ポンプ	ラビット	P490	H6	〃	正和
	二ノ宮	積載車	トヨタ		H26	3	二ノ宮
		小型動力ポンプ	シバウラ		H26	3	二ノ宮
		小型動力ポンプ	トーハツ	V38AS	S56	36	中角
	山北	積載車	トヨタ		H22	7	山北
		小型動力ポンプ	ラビット	P490	H22	〃	〃
		小型動力ポンプ	ラビット	P405	H3	26	草木藪

分 部 団 名	種 別		車 名 ポンプ名	ポンプ 型 式	年式	経過 年数	地区名
	種	別					
平 田 分 団	戸内1	ポンプ自動車	日 野		H20	9	
		積 載 車	ト ヨ タ		H6	23	
		小型動力ポンプ	ラビット	P490	H6	〃	
	戸内2	積 載 車	ニッサン		H10	19	
		小型動力ポンプ	ラビット	P476	H10	〃	
		積 載 車	ト ヨ タ		H6	23	貝礎
		小型動力ポンプ	ラビット	P490	H10	19	貝礎
	黒 川	積 載 車	ニッサン		H23	5	
		小型動力ポンプ	ラビット	P490	H23	〃	
沖 の 島 分 団	弘 瀬	軽 積 載 車	ス ズ キ		H23	〃	
		小型動力ポンプ	ラビット	B612	H23	〃	
		小型動力ポンプ	シバウラ	B716	H20	9	
	母 島	軽 積 載 車	ス ズ キ		H24	4	
		小型動力ポンプ	ラビット	V46AMX	H12	17	
	鵜来島	小型動力ポンプ	トーハツ	V4001	H9	20	
山 奈 分 団	中 央	ポンプ自動車	日 野		H21	8	
		積 載 車	ト ヨ タ		H6	23	手代岡
		小型動力ポンプ	ラビット	P490	H6	〃	手代岡
	山奈上	積 載 車	ニッサン		H23	5	
		小型動力ポンプ	ラビット	P490	H23	〃	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V38BS	S53	39	天神
	芳 奈	積 載 車	ト ヨ タ		H26	3	
		小型動力ポンプ	シバウラ		H26	〃	
	長 尾	積 載 車	ニッサン		H20	9	
		小型動力ポンプ	ラビット	P490	〃	〃	

分 団	種 別 名	種 別		車 名 ポンプ名	ポンプ 型 式	年式	経過 年数	地区名
		種	別					
橋 上 分 団	橋 上	ポンプ自動車		日 野		H21	7	
		小型動力ポンプ		ラビット	P490	H21	〃	
		〃		〃	〃	H4	25	
	神 有	積 載 車		ト ヨ タ		H6	23	
		小型動力ポンプ		ラビット	P490	H6	〃	
	楠 山	積 載 車		ト ヨ タ		H7	22	
小型動力ポンプ			ラビット	P490	H7	〃		
小 筑 紫 分 団	小筑紫	ポンプ自動車		日 野		H26	3	
		積 載 車		ト ヨ タ		H9	20	
		小型動力ポンプ		ラビット	P490	H9	〃	
	栄 喜	積 載 車		ニッサン		H14	15	
		小型動力ポンプ		ラビット	P490	H14	〃	
	伊与野	積 載 車		ト ヨ タ		H6	23	
		小型動力ポンプ		ラビット	P490	〃	〃	
	田ノ浦	積 載 車		ト ヨ タ		H22	6	
		小型動力ポンプ		ラビット	P456	〃	〃	
	大 海	積 載 車		ニッサン		H19	10	
		小型動力ポンプ		ラビット	P455	〃	〃	
	福 良	積 載 車		ニッサン		H19	10	
小型動力ポンプ			ラビット	P455	〃	〃		

大月町消防団機械器具配置状況

種別 分団名		種別	車名 ポンプ名	ポンプ 型式	年式	経過 年数	地区名
	本部	指揮車	トヨタ	コロナ	H9	20	
		指令車	三菱	パジェロ	H22	7	
第一分団	弘見	積載車	いすゞ	救助資器材搭載型	H22	〃	
		小型動力ポンプ	シバウラ	SF756AZ	〃	〃	
		積載車	ニッサン		H17	11	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V6201	〃	〃	
	竜ヶ迫	軽積載車	ダイハツ	軽自動車	H25	3	
		小型動力ポンプ	トーハツ	VF21AS	〃	〃	
	泊浦	積載車	ニッサン		H13	16	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V6201	〃	〃	
第二分団	橋浦	積載車	ニッサン		H26	2	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V6201	〃	〃	
	安満地	積載車	ニッサン		H8	20	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V5602	〃	〃	
第三分団	柏島	積載車	ニッサン		H16	13	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V6201	〃	〃	
	一切	積載車	ニッサン		H10	18	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V6201	H23	6	
第四分団	古満目	積載車	ニッサン		H19	9	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V6201	〃	〃	
	中央	積載車	ニッサン		H7	21	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V5602	〃	〃	

分団	種別 部名	種別	車名 ポンプ名	ポンプ 型式	年式	経過 年数	地区名
第五分団	周防形	積載車	ニッサン		H10	18	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V5602	〃	〃	
	西泊	積載車	ニッサン		H21	7	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V6201	〃	〃	
	檜ノ浦	軽積載車	三菱	軽自動車	H17	12	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V6201	〃	〃	
第六分団	姫ノ井	積載車	トヨタ		H27	1	
		小型動力ポンプ	シバウラ	SF651AZI	〃	〃	
	春遠	積載車	トヨタ		H28	0	
		小型動力ポンプ	シバウラ	SF651AZI	〃	〃	
第七分団	才角	積載車	ニッサン		H8	20	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V5602	〃	〃	
	大浦	積載車	ニッサン		H20	9	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V6201	〃	〃	
	小才角	積載車	ニッサン		H24	4	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V6201	〃	〃	

三原村消防団機械器具配置状況

種 別 分 団	種 別	車 名 ポンプ名	ポンプ 型 式	年式	経過 年数	地区名
西部分団	積 載 車	ト ヨ タ		H7	21	亀ノ川
	小 型 動 力 ポ ン プ	シ バ ウ ラ	P716	H7	〃	亀ノ川
	軽 積 載 車	ス ズ キ		H22	7	亀ノ川
	小 型 動 力 ポ ン プ	シ バ ウ ラ	SF656MZ	H22	〃	亀ノ川
中央分団	指 令 車 (軽)	ホ ン ダ		H22	〃	来栖野
	水 槽 付 ポ ン プ 車	日 野	モリタ	H20	9	来栖野
	救 助 資 機 材 搭 載 型 積 載 車	い す ゞ		H28	1	来栖野
	小 型 動 力 ポ ン プ	T O H A T S U	V F 5 3 A S	H28	1	来栖野
南部分団	積 載 車	ト ヨ タ		H22	7	下長谷
	小 型 動 力 ポ ン プ	シ バ ウ ラ	P477	H22	〃	下長谷
東部分団	積 載 車	ト ヨ タ		H22	〃	上長谷
	小 型 動 力 ポ ン プ	シ バ ウ ラ	P477	H22	〃	上長谷

消防団の人員並びに階級

(H29. 4. 1現在)

市町村別	人 員								
	定員	実員	階 級 別						
			団 長	副団長	分団長	副分 団長	部 長	班 長	団 員
宿 毛 市	498	488	1	2	8	8	24	64	381
大 月 町	253	228	1	2	7	17	19	29	153
三 原 村	53	50	1	2	4	4	0	0	39

消防団装備

(H29. 4. 1現在)

市町村別	消 防 施 設							
	消防屯所	消防ポン プ自動車	小型動力 ポンプ付 積 載 車	小型動力 ポンプ付 軽自動車	指揮車	指令車	小型動力 ポ ン プ	救 命 ボート
宿毛市	25	7	25	2	1	0	35	0
大月町	16	0	16	2	2	0	19	0
三原村	3	1	4	1	0	1	4	0

消防団員の年齢構成

(H29. 4. 1現在)

市町村別	年齢 団員数	20歳 未満	20	25	30	35	40	45	50	55歳 以上
			24	29	34	39	44	49	54	
宿毛市	488	0	6	30	68	103	99	59	62	61
大月町	228	0	9	10	16	36	40	29	37	51
三原村	50	0	0	9	4	9	7	11	7	3

消防団員の在職年数

(H29. 4. 1現在)

市町村別	年齢 団員数	5年未満	5年以上	10年以上	15年以上	20年以上	25年以上	30年以上
			10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	30年未満	
宿毛市	488	98	105	91	72	55	34	33
大月町	228	55	58	38	33	24	14	6
三原村	50	17	13	9	1	5	4	1

消防団員年報酬

(H29. 4. 1現在)

市町村別	年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
		宿毛市	152,000	105,000	79,000	46,000	42,000	36,000
大月町	95,000	61,000	42,000	33,000	30,000	28,000	26,000	
三原村	48,000	36,900	29,100	24,900			22,800	